



情報の電子化（ペーパーレス）

コロナ禍において、多くの企業がやっておけばよかったと感じた BCP 対策は「テレワーク制度の整備」が最多、次いで「情報の電子化（ペーパーレス化）」だと言います*。

※『月刊総務』調べ

ここでは BCP に不可欠な「ペーパーレス化」について説明します。

必要不可欠な文書

帳票や文書を紙で保管している場合、保管場所の火災や自然災害、運搬中の事故などにより情報が失われてしまいます。情報の再取得に時間やコストがかかり復旧が遅れることも問題ですが、最も避けたいのは企業の存続に不可欠な文書を失うことです。

企業の存続に必要な不可欠な文書や代替情報が他に求められない文書は特に、電子化して分散管理するなど緊急時に活用できるよう検討しておく必要があります。

ペーパーレス化を進めるポイント

ペーパーレス化を進めるためのポイントをいくつか紹介します。

・段階的に移行

最初から完全なペーパーレス化を目指さず、分野ごと、目的ごとに段階的に電子化して行きます。

たとえば、まずは社内で扱う文書を優先的に電子化し、社外とのやり取りは取引先の状況を見ながら紙とデジタルを併用していくといった方法です。

・代行サービスを利用する

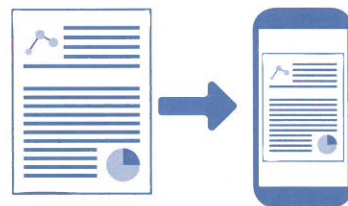
過去の文書も含め、紙の書類をスキャンしたりデータ入力するのは膨大な手間がかかります。電子化代行サービス業者を利用するのも 1 つの方法でしょう。専門家目線での提案を受けられる場合もあります。

・タブレットの導入

ペーパーレス化と相性が良いのがタブレット端末です。持ち運びが楽であること、スマートフォンよりも画面が大きく資料を読んだり相手に資料を見せたりしやすいこと、タッチペンで文書に直接記入できることなどから、パソコンよりも抵抗なく利用できるという声が多いようです。

・電子署名や電子契約の導入

電子署名・電子契約や電子印鑑、Web 請求書を導入したり、社内の経費精算や稟議書、各種申請など社内決裁を電子化するシステムを導入することも検討すべきでしょう。



労務ひとこと

就職情報会社ディスコは昨年 12 月、日本の大学や大学院に留学する外国人留学生の採用実態等の調査を実施しました。

外国人留学生の採用実績は前年調査とくら

べて 34.8% → 35.4% と微増。一方、採用見込みは 50.6% → 39.2% と約 10 ポイント減少しており、新型コロナウイルス感染拡大による先

行きの不透明さが、外国人留学生の採用に影響を及ぼしているものと推測されます。

外国人留学生を採用する目的は、

外国人留学生の採用見込みは大幅減少

「優秀な人材を確保するため」が突出して多く、続いて「日本人社員への影響も含めた社内活性化のため」、「ダイバーシティ強化のため」

が上位に挙がり、社内の活性化や多様性に対する意識の醸成など日本人社員への好影響をもたらすことも目的としていることがわかります。

外国人社員については高い離職率を懸念されがちですが、入社 3 年後の離職率について「日本人新卒

社員より高い」と回答した企業は 13.6%にとどまり、「日本人新卒社員より低い」（21.2%）を下回っています。